

[CASE 05]

たけだ あゆみ おおかわら まい
竹田 亜由美さん 大河原 舞さん
なかだ ひろこ さいとう
中田 裕子さん 齋藤 ひなのさん

川西町女性消防団

団活動は支えあい 仲間がいるから、頑張れる



川西町女性消防団は、2019年に開催された「第24回全国女性消防操法大会」に出場。およそ2年間の訓練を経た大きな舞台の経験は、操法技術の向上のみならず仲間同士の強い絆も育みました。それ以降も新入団員を迎えながら続けてきた消防団活動を、4人は「まるで学生時代の部活のよう」と表現。和やかでありながら凛と話す姿に、チームの信頼関係が窺い知れます。

「私は消防団に入団してから結婚、出産とライフステージの変化を経験してきましたが、いつも周囲の理解と団員同士の絆に支えられて消防団活動を続けていくことができました。とても良い環境に恵まれたと思っています」

部長・大河原さんが振り返るとその言葉を受け、コロナ禍で思うように活動できないジレンマを抱えた入団1年目の齋藤さんも「もっと早くに入団していれば良かった」と想いを語ります。

確かな手応えとやりがいを実感しながら活動を続ける川西町女性消防団の皆さん。同じ志を抱く仲間と、今日も町の安全・安心を見守っています。

Q1 全国女性消防操法大会とは何ですか？

女性消防団員の消防技術向上と士気高揚を目的に、2年に一度開催される大会です。国内すべての都道府県から代表の1チームが出場し、ポンプ操作の的確さや迅速な動作などを点数化し、その合計点を競います。私たちが出場した際は、町からたくさんの方が会場に駆けつけ、心強い応援をいただきました。



Q2 体力に自信がなくても務まりますか？

当町の女性消防団の場合は、消火活動は行いませんし、何か無理をお願いされるような場面はありません。人それぞれできることが違うのは当然です。消防団は一人だけの力でなく、団員みんなの力の結集で成り立っているものだと思えば皆が理解していると思います。



ちょっとした興味からの体験や見学も大歓迎です！
自分のためにもなって町のためにもなる消防団活動をぜひ一緒にやってみましょう♪

1. 神奈川県横浜市で行われた全国大会に出場。たくさんの声援を受けました

2. 子ども達に防災の大切さを伝える紙芝居

3. 応急手当の指導も大切な活動のひとつです

